

広島の蓄積

平和のための人材を育てる



unitar

United Nations Institute for Training and Research

国連訓練調査研究所(ユニタール) 広島事務所 **の取組**

UNITAR広島事務所は、平和のための人材育成を目的として、2003年に開設された中四国地方唯一の国連機関です。広島事務所では、開発途上国や紛争終結国から、国づくりを支える様々な分野の研修生を招き、広島の特性や資源、技術を活かした人材育成プログラムを実施しています。これまでに世界約60カ国から約2,100人の研修生と講師が参加され、各分野で研修成果を上げられるとともにグローバルな人的ネットワークが形成されています。

主な研修プログラム

- ・世界遺産の管理と保全
- ・海洋と人間の安全保障
- ・紛争からの復興(アフガニスタン奨学プログラム)

人を通した開発支援を バックアップ



国際協力機構(ジャイカ) 中国国際センター **の取組**

JICA中国国際センターは、中国地方のJICA事業の総合窓口機関として、1997年に開設されました。センターでは広島県等と連携して、地域の特性を活かして教育、平和構築、環境、地方自治行政などの分野での研修を実施しています。これまでに、約5,800人の研修員を受け入れ、専門知識や技術の研修を通じて、各国の発展に大きく寄与しています。また、青年海外協力隊等の募集や体験談(出前講座)、高校生を対象とした国際協力体験プログラム等の啓発事業などを実施しています。

被ばく者医療で国際協力の輪を



放射線被曝者医療 国際協力推進協議会(ハイケア) **の取組**

HICAREは、1991年、チェルノブイリ原発事故を契機として、県内の被ばく者医療・研究機関と、広島県、広島市が共同で設立しました。この20年間に、海外から1,253名の医師や医療関係者、研究者の広島への受入、研修の実施、広島の医療専門家201名の世界各地への派遣、原爆医療解説書の出版やシンポジウムの開催など、広島の知見の世界に向けた普及や人材育成の拠点として活動しています。

Action Plan
アクション
プラン

もっと
知りたい!
考えたい!

IAEAとのネットワーク構築に向けて

「2011HICARE 国際シンポジウム」開催

昨年8月にIAEA(国際原子力機関)と締結した覚書に基づき、県民を対象とした国際シンポジウムを開催。とき:11月23日(祝) 場所:国際会議場「ヒマワリ」/入場無料

放射線について、さらに知りたい方はこちらへ ▶▶▶

放影研

検索

「HICARE」の活動を通して 広島から福島へ支援

「HICARE」では現在、福島原発事故に対して、医療・研究の両面で支援活動を展開しています。放射線量測定チームの派遣や、広島の被ばく者医療の蓄積による首相への提言等も行っています。



2013年に「ピースコンサート」を開催予定!

広島から世界に平和のメッセージを発信し、国際平和の拠点形成に向けた広島の新たな取組を内外に提示します。事業収益は、NGO等の平和貢献活動支援として使われます。



お問い合わせ 国際課 ☎082(513)2367

人口 2,856,580人(昨年同月より5,683人減)
世帯数 1,191,029世帯(昨年同月より7,137世帯増)
男 1,380,432人 女 1,476,148人
※平成23(2011)年6月1日現在 出典:広島県人口移動統計調査

次回の県民だよりは10月1日(土)に新聞にも掲載します。

「ひろしま夢ぷらざ」の 売れ筋商品のセットを **プレゼント!**

5名様

プレゼントの発送は
9月中旬を予定しております。

※当選発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

【応募先】〒730-8511(住所不要)広島県庁広報課「プレゼント」係
はがきに住所・名前(ふりがな)・年齢(〇歳代)・県民だよりのご感想
(今回の掲載内容についてのご感想、または今後取りあげてほしい
テーマ)を明記の上、郵送してください。8月25日(木)消印有効
※ご応募はお一人様1回のみ有効となります。

※個人情報は、プレゼントの発送と読者層の調査のために利用します。

広報課

☎ 082(513)2373

FAX 082(228)4429

県ホームページ **広島県の広報** から、
掲載内容の関連情報をご覧いただけます。

携帯電話から情報をご覧の
場合は、右のQRコードを
読み取ってください。>>>

